

# 令和7年度分 事業所における自己評価総括表（保育所等訪問支援）

事業所名	子ども発達総合支援センター		
保護者評価 実施期間	令和 7年 12月 15日		～ 令和 8年 1月 30日
保護者評価 有効回答数	対象者数	38人	回答者数 14人
職員評価 実施期間	令和 8年 1月 7日		～ 令和 8年 1月 16日
職員評価 有効回答数	対象者数	19人	回答者数 19人
訪問先施設評価 実施期間	令和 8年 1月 6日		～ 令和 8年 1月 23日
訪問先施設評価 有効回答数	対象者数	33人	回答者数 29人
事業所向け自己評価表 作成日	令和 8年 2月 27日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや 意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多職種で専門性を活かした支援・連携ができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>多職種で訪問支援を行い、多角的な視点で支援方法を提案している。</li> <li>訪問先の困りごとや心配ごとに、各職員の専門性を活かしながら相談や検討を行い、対応している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>担当職員の専門外のところで、訪問先に困りごとがある場合、専門性のある職員が同行し、直接助言していく。</li> <li>専門職員の知見を職員間で共有し、専門的な視点を活かした訪問支援を実施する。</li> </ul>
2	保育園や幼稚園等と連携・協働が図りやすい	<ul style="list-style-type: none"> <li>市の公的施設である点を活かし、公立保育園等で、専門職員（保育士・訓練士）の実習研修を実施している。</li> <li>子どもや保護者の困り感を地域の園や学校等と共有し、継続的な支援を成長につなげている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>専門職員（保育士・訓練士）の実習研修を巡回相談事業と兼ねることで、支援を必要とするこどもの関わりを園の職員とともに考える機会とする。</li> </ul>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて 必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業が十分に浸透していない	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業そのものや、事業の効果などが十分に知られていない。</li> <li>私立園における独自のカリキュラムや学校現場での教育方針等と、訪問支援の兼ね合いが難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の目的や内容、また専門性の高い助言や丁寧なアセスメントを根気強く続けることで、事業の有効性を理解いただく。</li> </ul>
2	訪問支援体制の確立が難しい	<ul style="list-style-type: none"> <li>通所支援のほか、多種多様な支援に取り組んでおり、限られた人員で訪問日時を調整し、対応をしなければならない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>適正な人員配置に努め、必要とされる専門性を活かした支援を図る。</li> </ul>